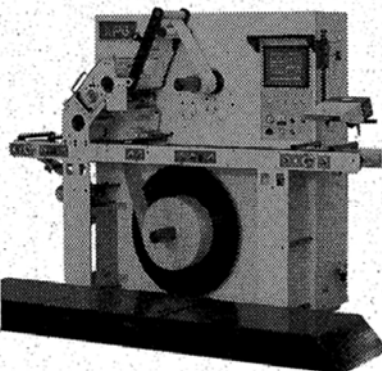


KPG

# 検品・スリッター機が好調

## ライナーレスラベルにも対応

ケーピージー㈱(東京都台東区台東、鈴木英也社長、  
☎03・33834・256



ニーズに応じた仕様変更も可能な「ラベル検品・スリッター機」

0)の「ラベル検品・スリッター機」が好調だ。同機は、最高速度毎分200以て、検品作業と最大11列(標準7列)までのスリット作業が1台で行える装置。ラベル抜けやカス残り、紙つなぎテープなどを感知し、異常があった場合にはスリット作業を行う手前で機械を停止。タッチパネル

にエラーの状態や個数、列などが表示される。同機は、従来からラインアップされてきた機種だが、顧客ニーズに細かく対応した特注機として製造できる点や、ライナーレスラベルの検品およびスリッターとして活用できる点、またアルペコ社のスリッター機を使用していたユーザーには、従来機以上の機能で同様の作業に対応できることなどから、最近導入

が相次いでいる。

特に、昨今環境対応で注目の高いライナーレスラベルについては、のり面印刷部の検査が可能なほか、オプションで特殊処理を施した刃を使用することで、のり面のスリット作業にも対応できる。また、巻き取り部は、ピックアップセン

サーを使用したクローズド制御のため、正確なアンションコントロールによる弱巻きも可能。固締めしたロールラベルを再度弱く巻き直す必要もなく、生産効率が大幅に向上できるものとなっている。さらに、スリッターの刃についても、アルペコユーザーの場合、同機の刃と互換性のある刃を使用しているため、新たに資材を購入する必要もない。

鈴木英也社長は、「各社のニーズに細かく対応可能な検品・スリッター機として、今後も拡販していく予定です。特に、最近活躍が目覚ましい女性オペレーターにも扱いやすい操作性を実現し、スリッター機としての精度も抜群のものとなっています。価格も仕様

によりますが、1000万円を大幅に切る価格帯で販売していきたい」と話している。

主な仕様は次のとおり。  
運転スピード 30以、200以/分

巻きだし部 最大径の

800ミ、最大原紙幅

270ミ/420ミ、エ

アーシャフト径の 75・5

ミ

スリッター部 スリット

カウンターの64ミ、最大取

り付け枚数10枚

巻き取り部 最大径の

650ミ、エアージャフト

径の75・5ミ、ラベル巻

き方向の選択 CW/CC

W切り替え付き、エアータ

ンションコントロール

カウンターの機能 ラベル

／メーター／トータルカウ

ント機能